



Value Transformation 2023

ダイフクグループは2021年度から2023年度までの3カ年中期経営計画「Value Transformation 2023」を策定しました。ニューノーマル（新常态）や、グローバルでの自動化ニーズの拡大と多様化といった当社グループを取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、DX²（DXスクエア）による提供価値の変革を目指します。また、中期経営計画とサステナビリティアクションプランを経営戦略の両輪に位置付け、お客さまや社会の課題解決を通じて、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値向上を目指していきます。

コンセプト

1 DX²による提供価値の変革

DX²（DXスクエア）= Digital Transformation × Daifuku Transformation

DX(Digital Transformation)を推進するとともに、ダイフクグループ自身の変革(Daifuku Transformation)に取り組み、お客さまをはじめとするステークホルダーに対する提供価値を変革していきます。

2 ニューノーマル下における新たな価値創造

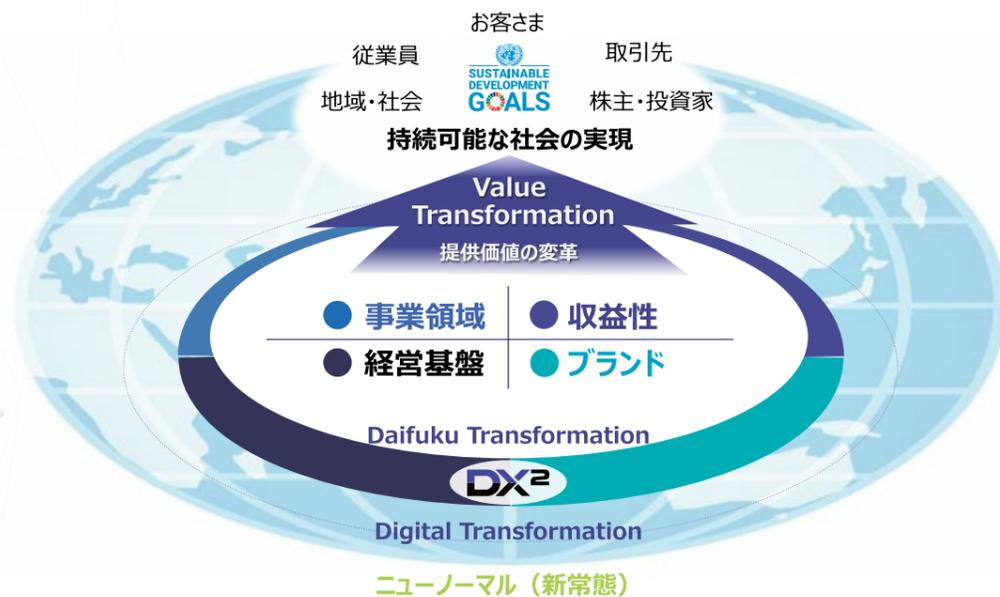
前例にとらわれない柔軟で創造性豊かな発想力と既存の枠組みを変革していく実行力により、新たな価値創造が求められる社会においてさらなる飛躍を目指します。

3 持続可能な社会への貢献

ESG(環境・社会・ガバナンス)やサステナビリティ(持続可能性)などへの取り組み推進の観点から、ダイフクグループでは、中期経営計画とサステナビリティアクションプランを経営戦略の両輪に位置付け、それらの実行を通してSDGs(国連の持続可能な開発目標)の達成に貢献してまいります。



「Value Transformation 2023」の概念図



目標値

経営目標としては、2024年3月期の売上高5,400億円、営業利益率10.5%を目指します。また、株主還元方針として、連結配当性向は2022年3月期～2024年3月期の3カ年平均で30%以上を目指します。

4つのテーマ

当社を取り巻く現在の環境認識から、経営課題として「事業領域」、「収益性」、「経営基盤」、「ブランド」の4つをテーマに据え、事業戦略を策定しました。

現状 (背景となる外的・内的環境)

市場環境

eコマースのグローバルでの拡大
自動化ニーズの多様化

事業環境

DXの進展
新興競合企業の台頭

経営環境

M&Aによる海外グループ会社の増加
アナログ業務の見直しとデジタル化の加速

社会環境

ステークホルダー・エンゲージメントの向上
事業活動を通じた社会的責任の遂行

4つのテーマと事業戦略

事業領域

- 1 グローバル化の加速
→グローバル市場への戦略的投資
- 2 既存事業の強化
→次世代ビジネスモデルの創出
- 3 新規領域の創出
→有望な新規領域への投資

収益性

- 1 製品力の強化
→先端技術活用による提供価値の変革
- 2 生産性の向上
→グローバルベースでの価格競争力の強化
- 3 生産体制の強化
→デジタル化によるものづくり改革の推進

経営基盤

- 1 グループ経営の再構築
→グループガバナンスの強化
- 2 業務運営の変革
→顧客志向での業務の効率化・付加価値向上
- 3 人事制度の改革
→多様な人財マネジメント制度の採用

ブランド

- 1 提供価値の変革
→TOP^{*}イノベーションでスマート・ロジスティクスを提供
- 2 社会価値の創出
→社会インフラを担う企業として仕組みの強化
- 3 社員意識の変革
→グローバルベースでの企業カルチャーの醸成

※ TOP: Time・Occasion・Place